

# 地域の特産物普及のための食育推進活動

## Eating education promotion activities for dissemination of local special products

藤井 わか子\*1

Wakako Fujii

### I 目的

美作大学で食育を推進するための活動を行っている。その中で、美作地域での本学の役割を意識し、地域での食育の推進活動を進めていくことが必要であると考えた。そこで、積極的に地域での食育活動に参画することが大切と考えた。その成果として、徐々に地域からの食育のイベント等の依頼が増えることで、食育に対する意識が着実に上がっていると考えた。これまで、本学で美作学園キャラクター「ミマッパちゃん」が誕生したことを受けて、2015年からパンやクッキーを作成し、地域のイベントで提供することを続けている。また、地域の食材を使用して作った料理をイベントに提供した。ここにその内容を報告する。

### II 活動内容

美作大学短期大学部栄養学科の学生1、2年生に参加者を募った。活動内容を以下に示す。

- (1) 美作学園のキャラクターであるミマッパちゃんをイメージしたパンやクッキー作りを2015年より検討、試作を重ねる。
- (2) ミマッパン、ミマッパクッキーを卒業生への後輩からの記念品とする。または、学内、学外で販売する。
- (3) 津山地域で行われるつやま地域の特産品が一堂に集まる「つやま地域産品まつり」に参加する。地域の特産物を使用し、2~3品を販売する。
- (4) 昨年度岡山県赤磐市是里むらから依頼され

て、特産の是里ごぼうを使用した料理のレシピを立案し、地域で伝えたい料理として開発を行う。ことしは「是里まつり in ワインフェスタ」にごぼうかりんとうと豆乳の豚汁をイベントで提供する。

### III 活動結果

ミマッパちゃんは、2010年に美作大学で「第51回中・四国保育学生研究大会」が開催され、それを盛り上げようと、幼児教育学科の中田稔教授のグループが作りました。11のデザイン案から学内アンケートを実施し、第1位のデザイン(左)をもとに、中田グループのみんなで検討して現在のデザイン(右)になり、このとき名前も「ミマッパちゃん」と名付けられました。



#### (1) キャラクターであるミマッパちゃんのパンの作成と検討

美作学園公式キャラクターのミマッパちゃんをモデルに作製する。オレンジ色の体 頬には津山市花の桜をあしらひ、頭の上は、美作大学の学花の白梅と葉っぱ、口は黄色でひし形にする。目は黒である。

ミマッパンの作成を試す(写真1)。試作を重ねるが、色はなかなかオレンジがでず、目が取れやすい。

できるだけ天然のものを使用することに心がけ、

\*1美作大学短期大学部栄養学科 教授 Prof.,Dept.of Nutrition Science,Mimasaka Junior College.M.ph.D

オレンジの色はカボチャやニンジン、トマトなどを試みる。眼は黒豆で作る。生地はカボチャや人参を試したが、思った通りの色にならず、天然色素を使用する。

まず、顔のパーツは目(ココア)で、他のパーツは天然色素を使用する。その後できるだけ天然でと、目はココア

くちばしとはなめしべ(くちなし) はな(生地) 葉っぱ(抹茶) ほっぺ(ブルーベリー) である。

パンはカスタードクリームを包み、全体をオレンジ色にするのではなく生地をオレンジ色の生地を包み、しっかりと色をだすようにした。焼き上げは、ごげ色がオレンジ色を妨げないように低めの温度で焼いた(160~170℃) (写真2)



写真1



写真2

### (2) 地域での販売活動

毎年 11 月に開催される「つやま地域産品まつり」に参加する。学内でも学生や幼稚園保護者に対して販売する。

2015 年では地元の食材を使用して豆乳シチュー きよみどりのぜんざい 串焼き芋など 3 品を作った。

2016 年ではにこごりめし、米粉パンケーキ、学内でミマッパンを販売することにする。

2017 年ミマッパクッキー ごぼうかりんとう カラフルスイートポテトなど 3 品を作る。

学生は来てくれる人々に特産物や製品の説明することで勉強になり、さらに人々との触れ合いにやりがいを感じて、満足していた。また、地域の人々に声をかけられることで地域のことをあらたに知ることができて、楽しかったと感想を言っている。



### (3) 卒業生に後輩からのプレゼント

栄養学科で、みまっパンをイベント等で作ることを重ねていくうちに、先輩へ記念として贈ることを決める。平成 27 年度より実施する。今年度は作業時間、保存性を考えて、クッキーとする。



完成したクッキーを卒業式が終わり、クラス会で渡す。



後輩からのクッキーをもらって喜んでいる卒業生



(4) 是里まつり in ワインフェスト (赤磐市是里村) に参加

昨年 (2017 年)、是里ごぼうレシピ集 (都市農村共生・対流総合対策交付金事業) を作成することになる。料理は 20 品目を掲載した。その中のレシピから 2 品をつくり、提供する。ごぼうかりんとう (5 本入り) と五目豆乳豚汁を提供する。

五目豆乳豚汁



ごぼうかりんとう



て、栄養学科の学生の食に対する意識を高め、地域の特産を知り、地域の人々に伝えていくことの大切さ、喜びを感じることができたと感じる。しかし、参加する学生が一部であり、その意識を多くの学生に広げる必要がある。今後もさらに続けて、学生が自ら計画し、食育活動への意識を高めることを期待する。

### III まとめ

平成 19 年より美作大学で食育を推進するための活動を行い、美作地域でのイベントに毎年参加することで、地域の人からの依頼も増えており、食育の重要性の理解は広まっていると考える。

そこで、今年は地域からの依頼も受けて、地域の特産を使い、その特産を広く知ってもらい、その特産物を使用した料理を作って、食べていただくことを目的で活動を実施した。こうしたことを通し